

The インタビュー

秋元 祥治 氏 下

岡崎ビジネスサポート
センター長

中小・小規模事業者を支援する愛知県岡崎市の岡崎ビジネスサポートセンター（OKa-BiZ）は、年間300件近くの相談をこなす。自治体が開設する無料経営相談所は、「〇〇ビズ」として全国に広がっている。秋元祥治センター長（40）は各地の〇〇ビズの開設や運営を積極的に支援している。

— 小企業支援にかかるべきかけは。

学生だった2000年の夏休みに岐阜市の実家へ帰省した時、子どもの頃から親しんできたデパートが閉店していました。商店街にも活気がなくなっています。

成果や課題 共有する



「全国のビズで中小企業を支えていく」と語る秋元センター長（愛知県岡崎市）=中根新太郎撮影

た。周りの人聞いても、「駐車場がないから」など、人のせいにしているように感じました。地域が活性化するには企業と人材が両輪だと思い、中小企業と学生の長期インターンシップをつないで「G-line」を創りました。そちらが忙し

くなり、大学は中退し、事業に専念しました。

— オカビズが手本とした静岡県富士市の富士市産業支援センター（f-Biz）は、「行列のできる相談所」と言われています。

G-lineは人材を通して中小企業をサポートしようとスタートしました。さらに支援の幅を広げられないかと思っていて、小出宗昭さん（エフビズ・センター長）の講演を聞いたんであります。「問題点を指摘するより、強みやいいところを見つけて伸ばす」という姿勢に共鳴しました。小出さんは師事し、中小企業支援のノウハウを学びました。

相次いで開設されていました。各地で同様のビズが

全国にビズ 運営支援

す。

オカビズには全国の市議会や自治体、官庁などが視察に来ています。年間30件以上ありました。オカビズの取り組みが参考になれば、研修を受け入れたり、開設のお手伝いをさせてもらったりしています。

— 東海地方では岐阜県関市、大垣ともに開設されています。

関、大垣ともに開設のお手伝いやスタッフの研修を受け入れるなどしてきました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、テイクアウトを実施する店舗が増えていますが、岡崎だけではなく大垣や関でも同様です。

だから、持ち帰りに関する食品衛生のネットセミナーを開催しました。

— 昨年10月には岡崎で「全国BIZサミット」を開催しました。

全国から20自治体のビズが集まりました。人口や産業構造など地域によって事情は異なりますが、それぞれの取り組みの成果や課題を共有しました。その後、新型コロナウイルスという苦境に直面していますが、こういう状況だからこそ、全国のビズが中小・小規模事業者を支える必要があり